



先進のデジタル技術とデータの有効活用により 業務の生産性、効率性を徹底的に高めます

ミネベアミツミグループでは、経営理念実現のため、先進のデジタル技術の活用とAI技術を利用したデータの有効活用によりDXをおこない、業務の生産性、効率性を徹底的に向上させることを目標に掲げています。

今後もAIとデジタル技術の活用によるDX推進強化策として、以下のプロセスを遂行していきます。

常務執行役員 CDXO (Chief Digital Transformation Officer)
AI・DX推進部門、ITサービス部門統括
佐内 桐梧

01

Strategy 戦略

経営理念と整合したDX戦略

- ・戦略、デジタルジャーニーの継続的な確認
- ・推進度合いを定性・定量的に測定

02

Organization & Resource 組織とリソース

DX人材の獲得

- ・産学連携による、広い視野からの市場要求分析
- ・学術的な知見をいかした潜在的な事業機会の掘り起こし
- ・学府との連携による産業界で活躍できる人材の育成

DX人材の育成状況

- ・部門内のクラウド活用技術者認定取得者 69%
(複数認定取得 33%)

03

Technology 技術

最新デジタル・ソリューションの導入と プロセスの構築・知見の共有

2023年

- ▶「ミネベアミツミ ヒューマン・キャピタル」サービスイン
- ▶「ミネベアミツミ カスタマー・サクセス」サービスイン
- ▶「生産現場の生産性向上DX」サービスイン
- ▶AIを活用したセールスフォーキャスト(需要販売予測)の改善
- ▶ファクトリー改革により製造現場の変革を加速

3

2024年以降
横展開予定

- ▶「ミネベアミツミ ヒューマン・キャピタル」
- ▶「ミネベアミツミ カスタマー・サクセス」
- ▶「生産現場の生産性向上DX」

DXソリューションと、各種 基幹システムとの連携の検討
AIを利用した需要予測、生成AIの業務への活用等

4

2020年8月～2021年

- ▶AI/DX推進部門設立(2020年8月)
- ▶ビデオ会議アプリ「Cisco Webex」を本格的に使用開始
- ▶デジタル・ワークプレイス「Slack」導入
- ▶e-Learning プラットフォーム「ミネベアミツミ・アカデミー」サービスイン
- ▶DXをサポートするセキュリティ施策の提言
- ▶クラウドストレージサービス「Box」、使用開始
- ▶AIを活用した自動会話プログラム「AIチャットボット for Recruiting」サービスイン
- ▶「AIチャットボット for EC(電子商取引)」サービスイン
- ▶ゼロトラスト・セキュリティをサポートする「Okta」導入開始

1

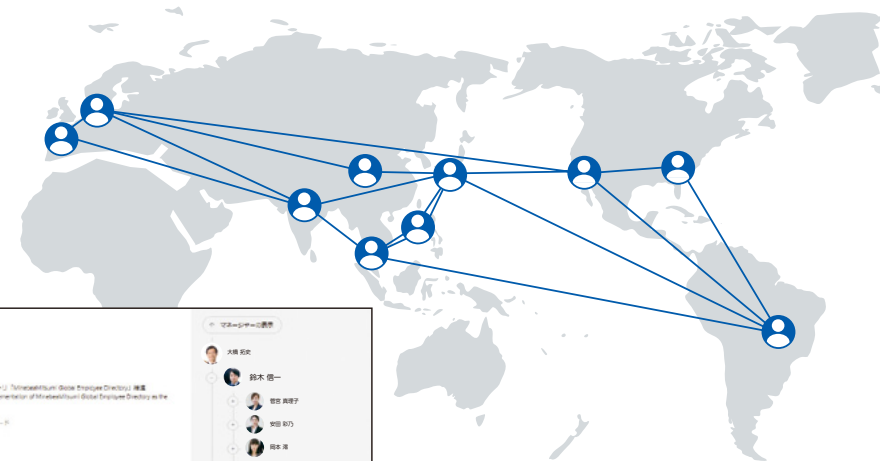
2022年

- ▶AI ソリューション「ミネベアミツミ ヘルスケア・プラットフォーム」開発開始
- ▶人事管理ソリューション「ミネベアミツミ ヒューマン・キャピタル」、開発開始
- ▶営業業務効率化のための「ミネベアミツミ カスタマー・サクセス」、開発開始
- ▶IT エンジニアの「スペシャリスト認定制度の構築」をおこないリスキリング、人材育成を加速

2

「MM Global Employee Directory」を活用し、人材の「相合」を促進

- 人事管理ソリューション(Workday)をベースとした人材情報を共有する「MM Global Employee Directory」を構築中
- 組織の壁を越えた社内のコミュニケーションを活性化させ、「相合」を促進



営業基盤のシステム化と製販の緊密な連携による営業力の抜本的強化

徹底的な案件、および営業担当員の管理により、2029年3月期までに売上高2.5兆円、営業利益2,500億円を達成

営業現場と製造現場の窓口に
密着した業務分析を行い、
その効率化を狙い利用シナリオを
業務毎に作成することで、
現場が導入効果を実感できる
仕組みを構築

各現場に導入推進者を
任命することで、
自律的な導入と運用の円滑な
定着化を促進

2024年度に国内全営業へ展開後、
世界の各事業拠点へ随時展開

デジタル技術で製造現場を改革

- AI-OCR、音声認識などの最新のIT技術を取り込み、製造現場を抜本的に改革し、新たな成長と競争力強化を進める。最新のIT技術を取り込み、製造現場を抜本的に変革し、新たな成長と競争力強化を進める
- 間接業務の省力化に向けて、ソリューションを導入し、効率化と人員削減をはかる

